

受験番号:37IPCN001

【問1】

【書類名】特許請求の範囲

【請求項1】

電力網サーバに、ユーザの納付機関に基づいて対応した初期画面を生成させるために用いられる生成モジュールと、

前記電力網サーバに、各前記初期画面において、対応した電気料金表示テンプレート及びウォレット表示テンプレートを作成させ、電力データベースから納付機関に対応した電気料金情報を抽出して前記電気料金表示テンプレートに入力させ、銀行データベースから前記ユーザのデジタル通貨情報を抽出して前記ウォレット表示テンプレートに入力させた後、クライアントに送信してデータインタラクションを行わせ、前記初期画面に対してカスタマイズ処理を行わせるために用いられるインタラクションモジュールと、

前記ユーザが前記クライアントに基づいて前記電気料金表示テンプレートを選択し、対応した電気料金事前納付情報を入力したものと判断した場合、前記電力網サーバが前記電気料金事前納付情報に基づいて、対応した支払い情報を生成して前記銀行サーバに送信するために用いられる送信モジュールとを備える、ことを特徴とするデジタル通貨電気料金支払い装置。

【請求項2】

前記初期画面は少なくとも1つの表示領域を含み、各前記表示領域が1つの前記納付機関に対応している、ことを特徴とする請求項1に記載のデジタル通貨電気料金支払い装置。

【問2】

【背景技術】

科学技術の絶え間ない発展に伴い、各種エネルギーに対するニーズも高まっている。従来技術においてはリチウム電池の正極材として三元系正極材が使用されている。しかしながら従来技術における三元系正極材は表層のリチウムイオンの反応活性が高いため、生産、保管又は輸送の過程において三元系正極材の表層又は表層近傍の格子中のリチウムイオンが空気中の水や二酸化炭素と絶えず反応し、そのため表層又は表層近傍の格子中のリチウムが消費され、反応による生成物が三元系正極材の表面を覆ってしまう。被覆された表面はアルカリ性が上がり続け、これはリチウム電池の正極のレート特性に影響を及ぼし、その結果、従来技術によって提供された三元系正極材は空気中の安定性が悪くなっている。

よって、空気中の安定性がより良好なリチウム電池の正極材を提供することは、当業者にとって解決が急がれる課題となっている。

【問3】

【発明を実施するための形態】

図1及び図2に示すように、本発明の安全弁弁位置測定装置によればケーシング1と、プッシュロッド2と、検出アセンブリとを備えている。

ケーシング1の内部に收容室が設けられ、收容室の一側に貫通口が設けられている。プッシュロッド2は貫通口に貫設され、かつ一部が收容室内に收容されており、プッシュロッド2の外端は貫通口から延出するとともに安全弁の弁棒8の傾斜面に当接している。検出アセンブリは透磁性体3と、磁極コイル4と、弁位置信号回路5とを備え、透磁性体3及び磁極コイル4が收容室内に收容されており、透磁性体3はプッシュロッド2に接続され、磁極コイル4は透磁性体3の周囲を圍繞している。弁棒8が鉛直方向に沿って移動すると、その傾斜面はプッシュロッドを駆動して水平方向に移動させることができ、さらには透磁性体3を磁極コイル4の中心軸線に沿って移動させ、これにより磁極コイル4はインダクタンスが変化する。弁位置信号回路5は磁極コイル4に電氣的に接続され、磁極コイル4のインダクタンスの変化に応じて弁位置変化信号を出力するために用いられる。